

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社  
コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）小林 幹夫  
問合せ先責任者（役職名）常務執行役員管理本部長（氏名）福田 忠男（TEL）028-665-1111

半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月9日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	19,693	8.3	2,764	21.3	2,727	15.5	1,889	0.5
2024年3月期中間期	18,177	4.8	2,279	167.2	2,362	138.1	1,880	129.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,220百万円（△62.3%） 2024年3月期中間期 3,239百万円（48.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	70.38	70.28
2024年3月期中間期	70.09	69.95

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	44,919	36,531	81.2	1,358.34
2024年3月期	44,574	35,884	80.4	1,334.77

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 36,483百万円 2024年3月期 35,836百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2025年3月期	—	21.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	21.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,950	3.3	5,380	10.2	5,450	9.3	3,750	2.0	139.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	28,392,000株	2024年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,532,923株	2024年3月期	1,543,459株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	26,851,508株	2024年3月期中間期	26,821,767株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年11月26日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に賃上げを実施した企業が多く、雇用や所得環境が改善し景気は緩やかな回復が見られ、日銀は政策金利を引き上げました。一方、為替は各国の金融緩和により一時円高方向に転じたものの、これまでの円安基調を背景とした物価の上昇やエネルギー価格の高騰が続き、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済におきましては、米国では好調な企業業績と物価上昇率の鈍化により、経済は堅調に推移しております。欧州ではインフレ率の低下による消費回復の傾向が見られるものの、ウクライナ情勢や中東地域紛争長期化の地政学リスクが高く、引き続き低成長が続くと見られます。また、中国でも不動産市場の低迷や海外景気減速による需要不足から、景気回復ペースは鈍化すると見られます。

当社グループが主要市場とする食品業界は、経済活動の正常化による消費回復が見られるものの、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続いたことで消費者の節約志向が高まり、人材確保の難しさもあり、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。そのような中でも、これまで控えられていた大手・中堅ベーカリーによる既存設備の更新や新規の設備投資が復活し、観光業界では、円安によるインバウンド観光客の増加により需要回復の動きが見られ、それに合わせて設備投資案件も回復してきました。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。中期経営計画（2023年度～2027年度）の2年目の今年度は、「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の基本戦略の推進策として、新機種開発を強化し、為替変動や地政学リスク等の外的要因に大きく左右されない安定経営基盤を構築し、ガバナンス強化や人材育成に取り組んでまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は19,693百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は2,764百万円（前年同期比21.3%増）、経常利益は2,727百万円（前年同期比15.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,889百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、外部顧客への売上高の数値を、セグメント利益は、セグメント間取引消去前かつ販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を、それぞれ記載しております。

#### 食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、修理その他、仕入商品の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は5,617百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は2,230百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同期比0.4%増加となりました。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが140円99銭から152円63銭と8.3%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,120百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は売上構成の変動及び展示会への出展などで広告宣伝費が増加したことにより、148百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同期比17.9%増加となりました。

主な要因は、菓子などの生産用として「火星人 KN551」の販売が増加したこと、製パンライン等でブレッド生産用として「ツインデバイダー VX222」の販売が増加したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが153円38銭から165円95銭と8.2%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,649百万円(前年同期比27.6%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は大型展示会の開催がなく、広告宣伝費が減少したことなどにより、315百万円(前年同期比127.7%増)となりました。

#### 食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少しました。

主な要因は、東南アジア、オセアニア向けの売上が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,060百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

セグメント利益(営業利益)は物流費の上昇などにより、246百万円(前年同期比12.5%減)となりました。

#### 食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同期比4.7%増加となりました。

主な要因は、既存大手顧客の受注増加や、新規顧客の獲得などがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが140円99銭から152円63銭と8.3%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は7,983百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は、861百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

#### 食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は262百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

主な要因は、業者向け講習会を行ったことにより材料卸業者向けの売上が増加したことや、販売価格を見直したことなどがあげられます。

セグメント利益(営業利益)は製造工程の見直しによる原価低減などにより、49百万円(前年同期比316.6%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて355百万円増加し、25,759百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が631百万円増加、現金及び預金が101百万円減少、商品及び製品が116百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円減少し、19,159百万円となりました。これは、有形固定資産が21百万円減少、無形固定資産が43百万円減少、投資その他の資産が55百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて345百万円増加し、44,919百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて114百万円減少し、6,630百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が121百万円減少、未払金が98百万円減少、短期借入金が93百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて188百万円減少し、1,757百万円となりました。これは、長期借入金が162百万円減少、繰延税金負債が23百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて302百万円減少し、8,388百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて647百万円増加し、36,531百万円となりました。これは、利益剰余金が1,299百万円増加、為替換算調整勘定が670百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の決算発表時(2024年5月14日)に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,591,862	13,490,712
受取手形及び売掛金	3,236,132	3,867,380
商品及び製品	5,997,307	5,880,705
仕掛品	1,341,552	1,592,984
原材料及び貯蔵品	481,909	456,959
その他	783,038	509,431
貸倒引当金	△27,470	△38,214
流動資産合計	25,404,332	25,759,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,925,188	16,570,925
減価償却累計額	△9,449,270	△9,446,848
建物及び構築物(純額)	7,475,917	7,124,077
機械装置及び運搬具	11,117,581	11,072,201
減価償却累計額	△8,686,306	△8,514,881
機械装置及び運搬具(純額)	2,431,275	2,557,320
工具、器具及び備品	2,127,046	2,158,123
減価償却累計額	△1,924,257	△1,930,773
工具、器具及び備品(純額)	202,789	227,349
土地	4,088,572	4,060,363
リース資産	27,262	27,330
減価償却累計額	△4,870	△6,839
リース資産(純額)	22,391	20,490
建設仮勘定	178,490	387,869
有形固定資産合計	14,399,436	14,377,471
無形固定資産	1,157,935	1,114,153
投資その他の資産		
投資有価証券	1,583,569	1,559,199
退職給付に係る資産	1,813,279	1,886,085
その他	223,060	224,119
貸倒引当金	△6,794	△1,153
投資その他の資産合計	3,613,115	3,668,250
固定資産合計	19,170,487	19,159,876
資産合計	44,574,820	44,919,835

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,285,250	1,163,870
短期借入金	704,722	797,722
リース債務	6,275	6,066
未払金	727,957	629,083
未払費用	615,716	617,901
未払法人税等	524,664	530,381
前受金	1,981,695	2,006,950
賞与引当金	765,722	772,139
役員賞与引当金	29,300	14,650
その他	102,955	91,397
流動負債合計	6,744,261	6,630,163
固定負債		
長期借入金	903,481	741,120
リース債務	18,653	16,553
繰延税金負債	640,412	616,841
再評価に係る繰延税金負債	347,009	347,009
資産除去債務	36,321	36,321
その他	213	144
固定負債合計	1,946,093	1,757,991
負債合計	8,690,355	8,388,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,105,902	7,118,564
利益剰余金	20,409,779	21,708,920
自己株式	△750,865	△746,022
株主資本合計	34,116,565	35,433,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	801,635	778,771
土地再評価差額金	△1,692,816	△1,692,816
為替換算調整勘定	2,248,344	1,578,227
退職給付に係る調整累計額	362,825	386,375
その他の包括利益累計額合計	1,719,987	1,050,557
新株予約権	47,911	47,911
純資産合計	35,884,465	36,531,681
負債純資産合計	44,574,820	44,919,835



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	18,177,320	19,693,871
売上原価	10,051,644	10,644,896
売上総利益	8,125,676	9,048,975
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	172,447	158,819
荷造運搬費	793,503	942,702
貸倒引当金繰入額	10,544	5,341
販売手数料	449,732	516,435
給料及び手当	1,534,649	1,615,772
賞与引当金繰入額	456,441	442,551
役員賞与引当金繰入額	14,650	14,650
退職給付費用	77,099	69,006
法定福利費	318,509	334,832
旅費及び交通費	251,020	264,486
減価償却費	271,365	308,400
研究開発費	351,669	374,993
その他	1,144,409	1,236,676
販売費及び一般管理費合計	5,846,042	6,284,668
営業利益	2,279,633	2,764,306
営業外収益		
受取利息	5,744	30,868
受取配当金	15,693	22,836
物品売却益	8,459	9,537
為替差益	20,634	—
保険解約返戻金	2,278	703
電力販売収益	12,420	13,595
その他	32,891	14,869
営業外収益合計	98,122	92,411
営業外費用		
支払利息	5,551	5,185
為替差損	—	107,160
電力販売費用	4,071	9,681
固定資産除却損	4,185	5,239
その他	1,476	1,925
営業外費用合計	15,285	129,193
経常利益	2,362,470	2,727,524
税金等調整前中間純利益	2,362,470	2,727,524
法人税、住民税及び事業税	522,772	846,232
法人税等調整額	△40,368	△8,517
法人税等合計	482,404	837,715
中間純利益	1,880,066	1,889,809
親会社株主に帰属する中間純利益	1,880,066	1,889,809

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,880,066	1,889,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249,206	△22,863
為替換算調整勘定	1,099,565	△670,117
退職給付に係る調整額	10,852	23,550
その他の包括利益合計	1,359,624	△669,430
中間包括利益	3,239,691	1,220,379
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,239,691	1,220,379

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,362,470	2,727,524
減価償却費	601,422	727,058
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,717	7,177
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,127	7,644
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,150	△14,650
受取利息及び受取配当金	△21,437	△53,705
保険解約返戻金	△2,278	△703
支払利息	5,551	5,185
固定資産売却損益(△は益)	△2,646	△27
固定資産除却損	4,185	5,239
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,592	△38,940
売上債権の増減額(△は増加)	△663,131	△718,462
棚卸資産の増減額(△は増加)	△533,599	△260,473
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△59,945	36,849
未払費用の増減額(△は減少)	6,631	31,389
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,862	△81,289
未収消費税等の増減額(△は増加)	28,952	26,015
未払消費税等の増減額(△は減少)	△122,746	△9,521
その他の流動負債の増減額(△は減少)	141,210	△109,112
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△116	△69
その他	18,303	114,568
小計	1,734,065	2,401,698
利息及び配当金の受取額	21,437	53,705
利息の支払額	△5,551	△5,185
法人税等の支払額	△627,821	△658,186
法人税等の還付額	3,064	32,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,125,194	1,824,503

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△319,332	△743,561
有形固定資産の売却による収入	2,646	27
無形固定資産の取得による支出	△114,316	△177,813
投資有価証券の取得による支出	△4,091	△4,478
その他	6,349	△3,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428,744	△928,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	93,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△162,361	△162,361
リース債務の返済による支出	△1,347	△3,391
自己株式の取得による支出	△555	△416
配当金の支払額	△508,483	△589,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	△552,747	△662,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	298,809	△334,015
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	442,511	△101,150
現金及び現金同等物の期首残高	11,440,477	13,591,862
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,882,989	13,490,712

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,784,753	1,950,934	2,076,456	1,089,427	10,901,571
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,681,459	25,550	—	—	2,707,010
計	8,466,213	1,976,485	2,076,456	1,089,427	13,608,582
セグメント利益	2,118,393	165,043	138,570	282,331	2,704,338

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	7,043,062	232,686	7,275,748	18,177,320
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24	24	2,707,035
計	7,043,062	232,710	7,275,773	20,884,355
セグメント利益	774,589	11,905	786,494	3,490,832

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、トルコ、スペイン、イギリス、ポーランド
- (3) アジア……………中国、台湾、シンガポール、オーストラリア

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,490,832
セグメント間取引消去	△177,182
本社一般管理費(注)	△1,034,016
中間連結損益計算書の営業利益	2,279,633

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,617,334	2,120,258	2,649,419	1,060,721	11,447,733
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,301,276	41,824	80	—	3,343,181
計	8,918,610	2,162,083	2,649,500	1,060,721	14,790,914
セグメント利益	2,230,933	148,310	315,456	246,924	2,941,625

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	7,983,591	262,547	8,246,138	19,693,871
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	3,343,207
計	7,983,591	262,573	8,246,164	23,037,079
セグメント利益	861,047	49,594	910,641	3,852,266

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、セルビア、オーストリア、イスラエル、クロアチア
- (3) アジア……………台湾、中国、タイ

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,852,266
セグメント間取引消去	14,275
本社一般管理費(注)	△1,102,235
中間連結損益計算書の営業利益	2,764,306

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	3,563,723	—	3,563,723
製パンライン等	4,101,892	—	4,101,892
修理その他	2,907,661	—	2,907,661
仕入商品	295,045	—	295,045
その他	33,250	—	33,250
食品等	—	7,275,748	7,275,748
顧客との契約から生じる収益	10,901,571	7,275,748	18,177,320
外部顧客への売上高	10,901,571	7,275,748	18,177,320

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	3,684,724	—	3,684,724
製パンライン等	4,070,443	—	4,070,443
修理その他	3,332,352	—	3,332,352
仕入商品	308,576	—	308,576
その他	51,638	—	51,638
食品等	—	8,246,138	8,246,138
顧客との契約から生じる収益	11,447,733	8,246,138	19,693,871
外部顧客への売上高	11,447,733	8,246,138	19,693,871

(重要な後発事象)

該当事項はありません。